

学ぶこと、獲得すること、出来ることの楽しさと難しさ

校長 中村 勉

「雪がとけたら何になるかな。」と子ども達にきいたところ、「春です。」といううれしい答えが返ってきました。いいですね。子どもの頭は、柔軟です。めじろの姿やうぐいすのこえを見たりきいたりすると、春は、もうそこまできています。

3月25日には第109回卒業生として87名が第二小学校を巣立っていきます。彼らが新しい環境の中で、今まで以上に自己の力を伸ばし、発揮し、自分の道を背筋をのぼし堂々とあゆんでいくことを願わずにはいられません。

私は、この2年ほど、10名の仲間とテニスのレッスンを受講しています。10名の仲間は中学2年生のKくんから私まで、10代から50代、男女混合。コーチは大変だろうなと毎回思うのです。

私達年輩の者は、理屈は分かるのですが、なかなかコーチがいうように体であらわすことができません。若者達は、理屈はわからないがなんとなく体で表現してしまうのです。

コーチが私達によくいう言葉のひとつに「私の動きをよく見て、真似して。」があります。私達は、真面目な生徒ですからコーチの一挙一動を目を皿のようにして追っているのですが、さて自分がやってみるとどうも違うのです。総体的な動きの真似はどうやら出来ているようなのですが、ボールを捕らえる瞬間の動きに絶対的な違いがあるようなのです。コーチ曰く、「あと3年ぐらい続ければ、できるようになるでしょう。」ですって。

10名の仲間は、期毎に変わることもあるのですが、老若男女少しでも上手になりたい、試合の中で獲得した技を十分に活用したいと思いながらも発揮できないでいます。この、技・力を発揮できないということは、“身につけていない”という証なのです。コーチの「まあ、そんなもんでしょう。」という言葉にも負けずに今日もコートに立つ私です。

理屈を「分かる」ことは、得心がいくことです。楽しいことには違いありません。しかし、「出来ない」と、その楽しさも半減。逆に、出来ても得心がいかないことがあると、気持ちがすっきりしないものです。

『分かって出来る』『出来て分かる』、この一体化が“身につける”ということなのかなと最近考えているのですが、皆様、ご意見をお寄せ下さい。

さて、子ども達の学校生活を見ていて、『分かっているけど、出来ない』ことが、社会としての学校の中でたくさんあります。その最たるものが「廊下歩行」と「ぞんざいな言葉遣い」でしょうか。「廊下歩行」については、数人の方とメールで意見交換をした課題でもあります。私が見て大変危険なのです。何度も何度もその危険性を説くのですが、できません。いっそ「廊下は走りましょう。」としたらどうかという逆説的なご意見もありました。「痛い思いをしなければ実感として獲得できないのでは。」「自分がけがをしたことがあるので、ぜひ徹底して。」等等。

『分かること』、『出来ること』は、その瞬間は楽しいことですが、“一体化する”“身につける”ことは、なかなか難しいことです。

『分かって出来る』『出来て分かる』、その難しいことに、この1年、私共はまず、子ども達が取組み易く、成果が目に見え易く、自己評価し易いということから、100ます計算、朝のチャレンジタイムにおけるドリル学習、漢字学習、CPを使用したドリルコンテンツの活用等を通して取組みました。多くの子ども達が自分の力の伸びを実感しつつ意欲的に取組み、その結果、自分にも「出来る」という自信を獲得することができたことは大きな、そして、大切な成果でした。

また、算数科におけるコース別学習、総合的な学習の時間（さくらの時間）における課題別学習等を通して、子ども自身が教師の指導・助言のもと、さらに学習サポートスタッフ支援のもと、自分の課題に応じた学習課題を選択し、自分の力を伸ばす学習活動に取組みました。一斉指導の中で、子どもが自己の課題を追究できる学習方法・形態の工夫の一つとしての取組でした。

4年生の1人の男の子が「出来ない、分からないと言うことは、恥ずかしいことではないのですね。そのままにしておくことが恥ずかしいのですね。」と話してくれました。この言葉は、私達教師にどれだけ勇気を与えてくれたことでしょうか。また、この言葉を言えるこの少年の成長に拍手です。

それにつけても、様々な学習活動に、多くのサポートスタッフの方々がお入りくださり、学びの場としての45分間の授業を豊かなものしてくださいました。青空園での活動、クラブ活動、さくらの時間・家庭科はじめ各教科の中で、2小始まって以来の多くの皆様がご自分のご意志でご支援くださいました。そして、この皆様のご支援の輪が、二小応援団として、自然な形で私達教師に「授業における創造の楽しさ」を広げてくださっています。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

しかしながら、674名総ての子ども達に、日々学ぶ楽しさを実感させることのできる授業を提供できるまでには、まだまだ遠い道のりが必要です。

総ての子ども達に学ぶ喜びを実現できる日を目指し、今、私達は、次年度に向け一層の「授業づくり」を計画・検討しています。3月15日(土)10時には、概要を説明できるよう準備しています。ご期待ください。

3月の予定

3日(月)委員会活動	15日(土)平成15年度教育課程説明会 (10:00~11:30)
4日(火)保護者会(5,6年) 14:00から	20日(木)大掃除 午前授業(1~4) 給食終了 卒業式予行(5,6)
5日(水)なわとび大会	21日(金)春分の日
7日(金)保護者会(3,4年) 14:00から	24日(月)修了式 卒業式前日準備 (1~4年,2校時後下校)
10日(月)保護者会(1,2年) 14:00から	25日(火)卒業式
12日(水)卒業を祝う会(6,職員)	
14日(金)5校時授業(会議のため) 避難訓練	

サポートスタッフ通信

寒さの厳しい中、梅の花が満開を迎えようとしています。多くのサポートスタッフの方々に支えられたこの1年も、いよいよ終わりに近づいてきました。

そこで先日、今までお世話になったスタッフの皆さんに対する感謝の気持ちをこめて、「サポートスタッフ懇親会」が開かれました。お茶とケーキが用意されたアップルルームでは、和やかな雰囲気の中この一年の成果について話し合われました。

「スタッフの皆さんが熱心に関わってくれるので、子どもたちのやる気がちがう。」

「その場でできぐあいを見てもらえるので、満足度が高いようです。」

「子どもが興味を持つことに、多様にチャレンジさせることができた。」

「子どもたちや、学校側の意欲に負けないようにがんばろう！という気持ちで取り組んでいるんですよ。」

こんな参加者の話から、改めてスタッフの皆さんのお力添えに感謝の気持ちが膨らみました。1年間、二小のために力を貸してくださったたくさんの方々、本当にありがとうございました。

これからも引き続き、ご支援のほどよろしく願いいたします。

サポートスタッフ担当



なわとびの取り組み・なわとび大会。

まだまだ寒い日が続いていますが、学校では、寒さに負けず、休み時間、外で元気に遊ぶ子の姿がたくさん見られます。そんななか、2月13日から21日まで、なわとび検定が実施されました。20分休みになると、挑戦したい級がある1年生から3年生までの子たちが、朝礼台の前に集まってきます。そこで5・6年生の体育委員のお兄さんお姉さんに、一人ひとり跳んでいるところを、見てもらいます。できていると、合格の印を、なわとびカードに押してもらえます。熱心な子は、毎日のようにやってきて、何度も何度も挑戦していました。日一日と上達していく姿には、感心させられました。あきらめず、継続して練習する大切さを教えてくれました。

3月5日(水)には、校庭で、なわとび大会がひらかれます。今年度は、朝会と1校時の時間を使って、全校体育として実施します。時間跳びと個人種目をやります。時間跳びとは、前跳びで各学年の目標タイムを、跳ぶものです。

1年生・・・30秒

2・3年生・・・1分

4年生・・・1分30秒

5・6年生・・・2分

一見簡単そうに見えますが、このタイムでもひっかからず続けて跳ぶのは、なかなか難しいものです。単調な跳び方だけに、集中力が要求されます。

個人種目は、8種目の跳び方の中から、自分で1種目選び、どれだけ長く跳び続けられるか挑戦します。

グーパーとび グーチョキとび 二重とび あやとび 交差とび
はやぶさとび リトルとび(交差二重) サイドクロスとび(そくしん二重)

なわとびは、短なわ1本でできる手軽な運動ですが、高度な跳び方となると、その技の力強さと美しさに、思わず見とれてしまいます。はやぶさ・リトル・サイドクロスとびは、みんなの前に出てきて跳びます。

1年生から6年生まで、みんな日頃の練習成果を発揮してくれることでしょう。

健康教育担当

3月の生活目標

「1年間のまとめをしっかりとしよう」

各地で猛威を振るった今年のインフルエンザですが、空気がよいせい、二中学区では二小も井口小も学級閉鎖に至ることなくすみそうです。

さて、3月は1年間のまとめと、新しい学年への準備をする大事な月です。この1年をふり返り、できるようになったこと、がんばったことを数えてみてください。きっとたくさんあるはずです。成長のあとをしっかりと確かめ、自信と希望を持って新しい学年を迎えてほしいと思います。

2月に行われた、新一年生の保護者会で配布したプリントに次のようなことが載っていました。

- 身の回りの始末ができるように。
- 偏食がないように。
- いつも清潔に。
 - ・ハンカチ、ちり紙を忘れずに持つ。
 - ・つめを短く切る。
 - ・外から帰ったら手洗い、うがいをする。
- はっきりと返事ができるように
- すべての持ち物に記名を。

入学した頃は、がんばっていたことでも学年が進むにつれておろそかになってきているものもあるようです。新学期に向けて、もう一度初心に戻ってみてはいかがでしょうか。

生活指導担当